

2018年11月受付開始予定

講演会



# 「日本における地域精神保健福祉のありかた」

～地域での支援を例に考える～ (仮)



精神障害のある人が「入院」という形だけに頼らず、地域で生活するためには環境やサポート体制をしっかりと整えることが大切です。

メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長で、精神科アウトリーチ医療のパイオニアである伊藤順一郎さんのお話と、ACT（包括型地域生活支援プログラム）や訪問看護などの実践報告から、精神障害のある人が地域生活を送るために地域には何が必要か、周りの人はどのように支えていけるか、考えます。

訪問での支援の意義や現状、今後の可能性について、また家族やピアスタッフが果たす役割について、講演とシンポジウムの二部構成でうかがいます。

地域づくりに関心のある人、専門職、家族、どなたでもご参加いただけます。

とき

2019年1月12日（土） 13：00～16：00

ところ

朝日新聞東京本社 読者ホール(東京都中央区築地5-3-2)

講師

伊藤 順一郎さん (メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長)

ほか

参加費

1,000円

問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団

「精神保健福祉講演会」係

TEL:03-5540-7446

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

※講演会のタイトルは変更になる場合があります

● 主催 朝日新聞厚生文化事業団

● 後援 地域精神保健福祉機構